

造本の科学

—なぜ本は美しいのか?—



[本の学校] 展示室より

令和7年3月20日(木・祝)

開場 12:30
 開演 13:00
 ①講演 13:30~15:00
 ②ワークショップ 15:15~16:15

会場 米子市文化ホール 研修室1・2

参加費 無料

講師 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻 准教授
 野村 悠里 (のむら ゆり)

定員 ①講演:50名
 ②ワークショップ:10名

講師プロフィール

東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻准教授。
 製本史研究として『書物と製本術—ルリユール/綴じの文化史』(みすず書房、2017)、『或る英国俳優の書棚』(水声社、2024)、
 『美しい書物/アーツ・アンド・クラフツ運動』(幻戯書房、2025)
 などを出版し、並行してルリユール(伝統工芸製本)の創作を行う。
 英国製本工芸家協会 J.Hewit & Sons Award、デザイナー・ブック
 バインダーズ協会 Oxford University Students' Choice受賞他。

【概要】

鳥取県米子市には、図書館・博物館・記念館など、本に関わる文化施設があります。[本の学校]もそのひとつで、本の博物館では、出版文化に加え、革装本、マーブル紙、活字など、造本の歴史を伝えるディスプレイを行ってきました。なぜ本は美しいのでしょうか。本講演では、造本を科学的に分析した著作(啓蒙思想家デイドロ、自然哲学者ファラデー、工芸家コブデン=サンダーソンなど)を例示しながら、本の構造に秘められた規則と運動を読み解きます。また、登壇者が研究を進めているマイクロフォーカスX線CT法による構造分析についてご紹介致します。

講演会日程

- ・12:30 開場
- ・13:00 開会挨拶 東大人文・特任研究員 佐藤 宏之
- ・13:05 活動報告 佐藤 宏之
- ・13:20 趣旨説明 NPO法人 本の学校 前田 昇
- ・13:30 講演会 野村 悠里先生
 演題 「造本の科学—なぜ本は美しいのか?—」
- ・15:00 講演会終了
- ・15:15 ワークショップ 「書見台をつくる」
- ・16:15 閉会

【申込方法】 *2月15日(土)申込開始

電話で①参加者名②参加希望人数③ご連絡先をお伝え頂き、米子市文化ホールへお申し込み下さい。
 《電話》0859-35-4171
 《開館時間》9:00~22:00
 《申込締切日》定員になり次第、受付終了

【関連ワークショップ 15:15~16:15】

書見台はブック・サポートとも呼ばれ、本の展示や読書の時に用いられます。ワークショップでは、「文化資源としての書物」履修生がデザインした手引きに基づいて、手軽に使える書見台をつくりましょう。身近にある小包箱を再利用し、ブック・サポートに仕立てます。



書見台(東京大学「文化資源としての書物」履修生作成)

主催 東大人文・淀江プロジェクト

[東大問い合わせ先] プロジェクト室(佐藤) ☎03-5841-4046 hsato@l.u-tokyo.ac.jp
 事務担当(瀧口) ☎03-5841-4028

共催 米子市、一般財団法人 米子市文化財団[米子市文化ホール]、NPO法人 本の学校

後援 鳥取県、NPO法人むぎぼんだ応援団、一般社団法人 淀江ロマン遺跡回廊